



高齢者が元気であれば地域が活性化する

—笠間市におけるシニア・高齢者の
社会貢献に関する意識調査からの報告—

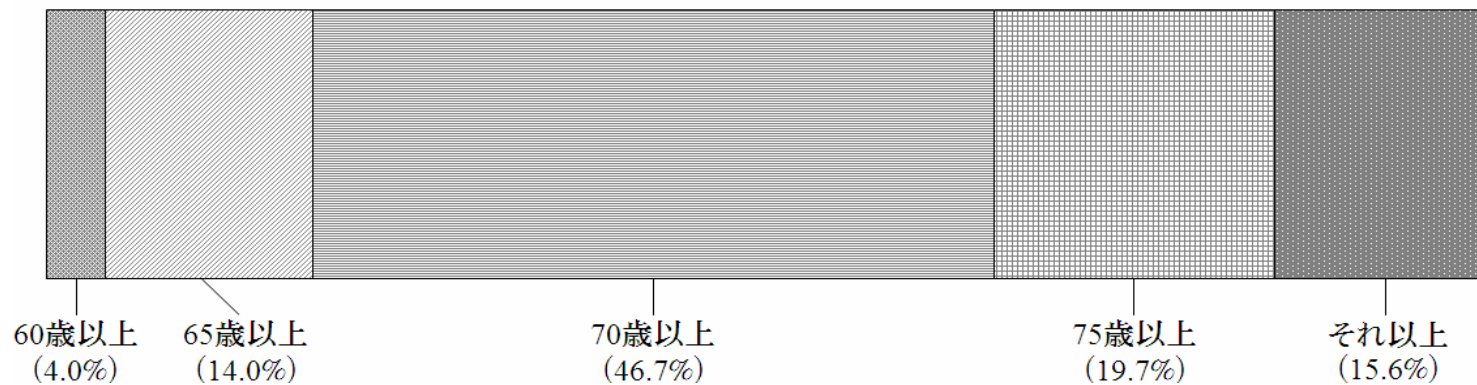
2010年5月

(株)日経リサーチ 客員・創業者
立教大学大学院 客員教授

■ 高齢者のイメージ(定義)

2

■ 確固たる高齢者の定義はない。内閣府「高齢者の日常生活に関する意識調査」結果から、高齢者から見た高齢者とは、「70歳以上」というのが8割。



出典:内閣府(2004)『高齢者の日常生活に関する意識調査』

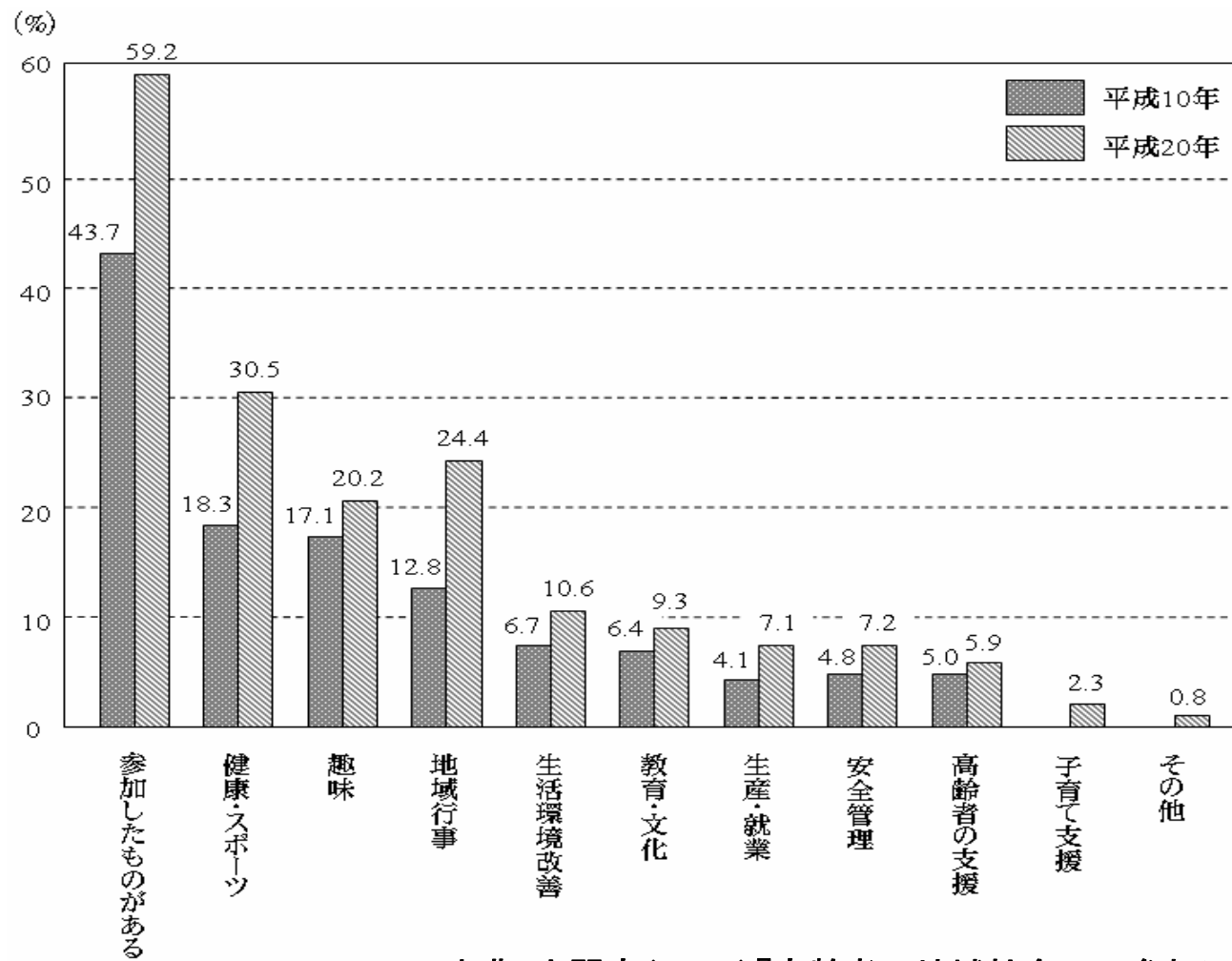
白書にみる高齢者への対応

社会の呼称	—	高齢化社会	高齢社会	超高齢社会
高齢化率	～6%	7～13%	14～20%	21%～
時代	～1969年	1970～1994年	1995～2006年	2007年～
『厚生白書』 (1962～2000) 『厚生労働白書』 (2001～2009) タイトルからの特長	厚生白書のタイトルは付けてない。 ※高齢社会は遠い未来と思われている。	「人口変動と社会保障」 「これからの社会保障」 「高齢者社会の人口に立つ社会保障」 「高齢化社会を支える社会保障を目指して」 ※社会保障を中心に明るい展望である。	「家族と社会保障—家族の社会的支援のために」 「生涯にわたり個人の自立を支援する厚生労働行政」 「活気ある高齢者像と世代間の新たな関係の構築」 ※少しずつ自立へ向けてのメッセージ中心である。	「生涯を通じた自立と支え合い—暮らしの基盤と社会保障を考える」 「暮らしと社会の安定に向けた自立支援」 ※より強く自立の必要性を表現である。
高齢者(65歳以上)への施策	あまり必要性を感じていない	豊かな財政のもと保護施策中心	保護への疑問から対象者区別	保護施策より自立中心
65歳以上の人を支えている人数(1人あたり)	10人以上	9～5人	4～3.3人	3人～

出典:厚生労働省(1963-2000)『厚生白書』、厚生労働省(2001-2009)『厚生労働白書』

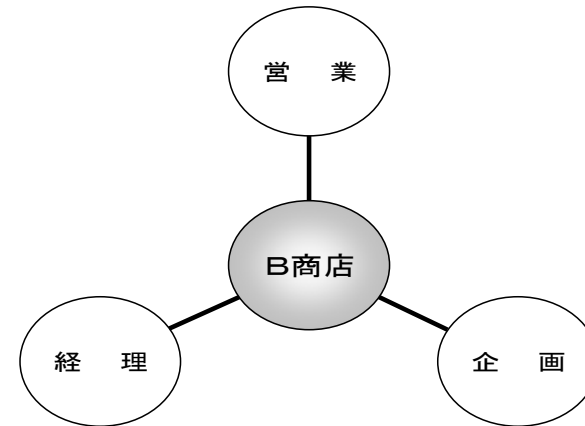
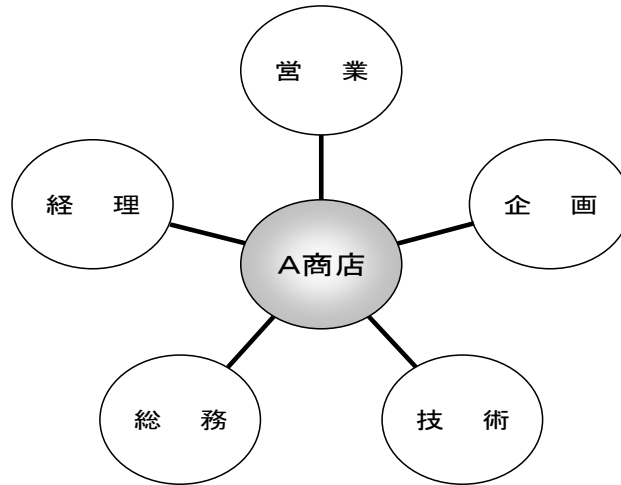
■ 高齢者のグループ活動の参加

4

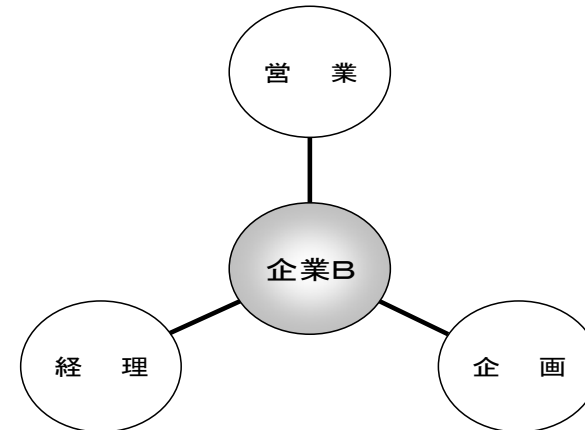
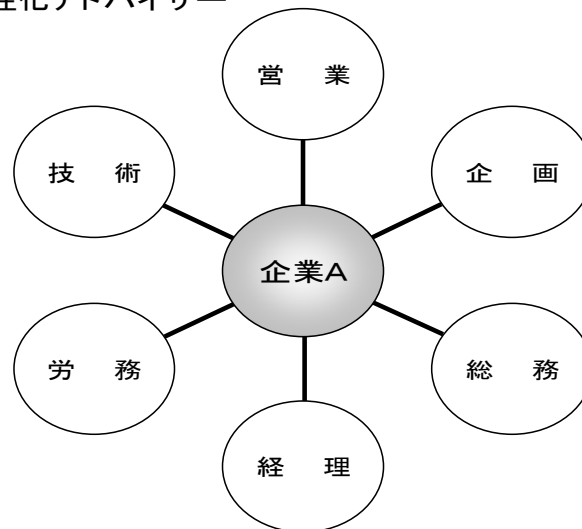


出典：内閣府(2008)『高齢者の地域社会への参加に関する調査』

商店活性化アドバイザー



企業活性化アドバイザー



■ 調査概要

◇ 調査目的

笠間市の高齢者の地域貢献への関心状況や参加状況を確認する

高齢者の経験や意向を確認し、地域貢献の可能領域を設定する

地域貢献に参加するための阻害要因を明らかにし、地域専門アドバイザー制導入のための対策案を検討する

◇ 標本抽出の方法

母集団は、笠間市の55歳以上75歳までの一般個人男女23,020人(茨城県笠間市年齢別人口統計2009年9月1日現在)笠間市の選挙人名簿(2009年9月1日現在)を抽出枠として利用し、標本として1,000人を単純無作為抽出。

◇ 調査方法

質問紙郵送法(自記式)

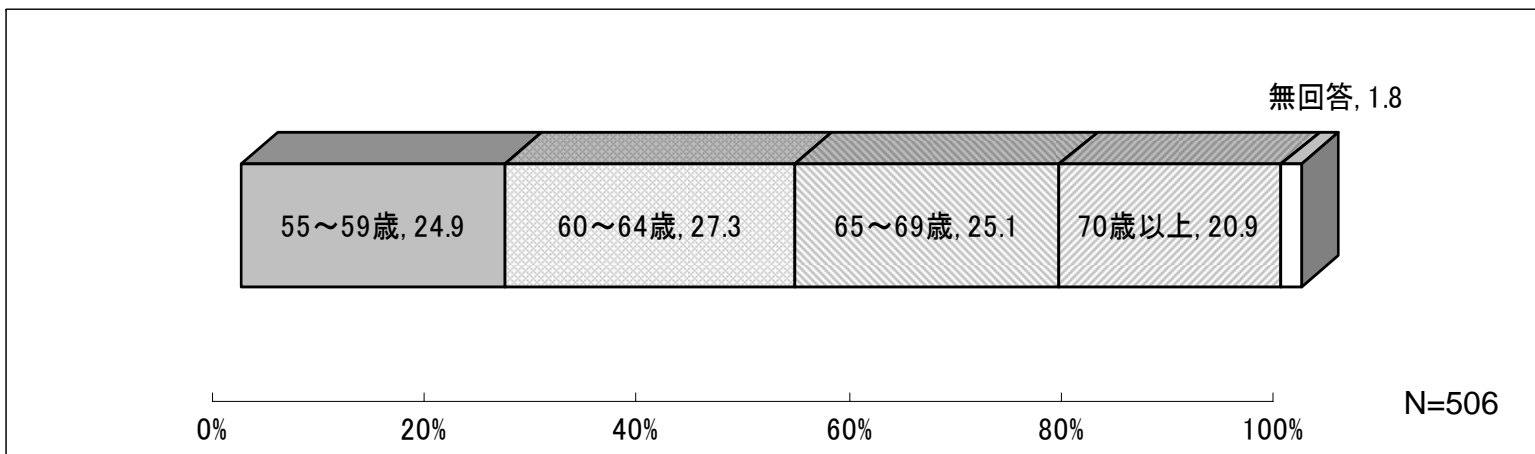
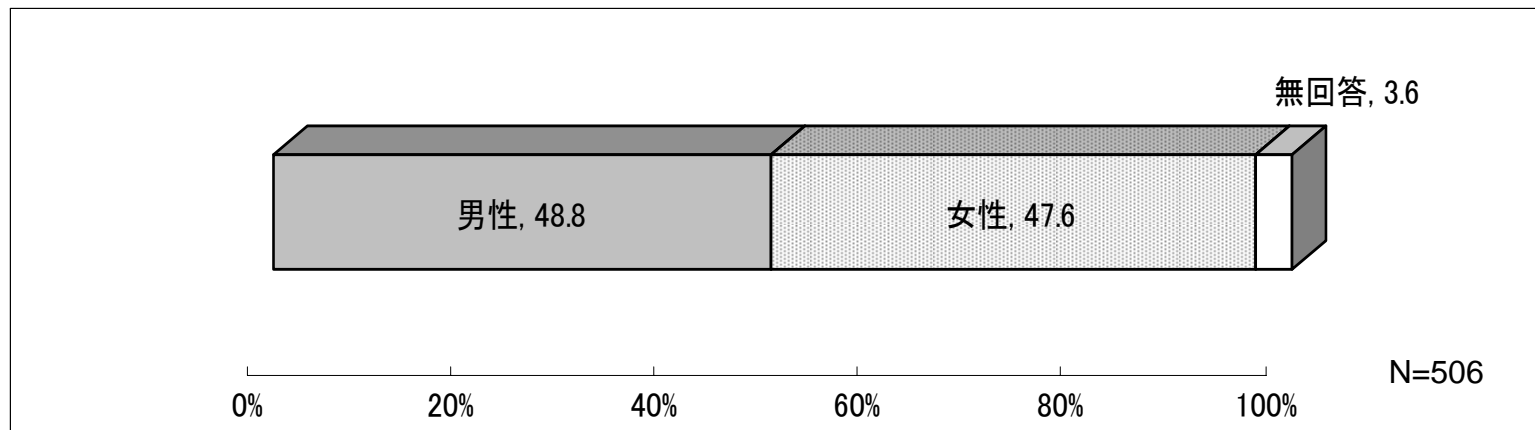
◇ 調査期間

2009年10月9日から22日の14日間

◇ 有効回答数

506件(有効回収率は50.6%)

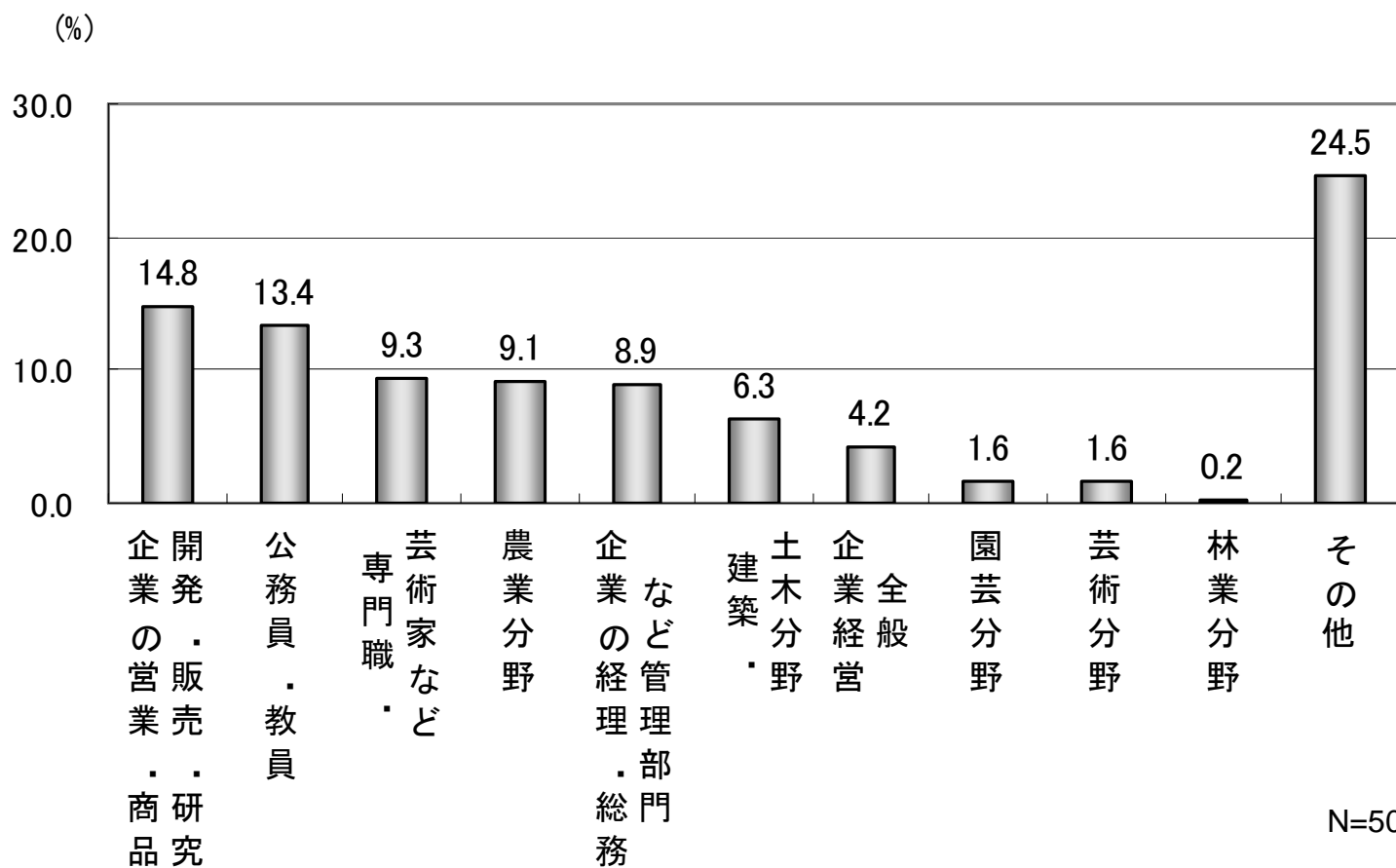
■ 回答者の属性 男女ほぼ半々、年齢はやや「60-64歳」の割合が高い



最も長く従事した仕事内容

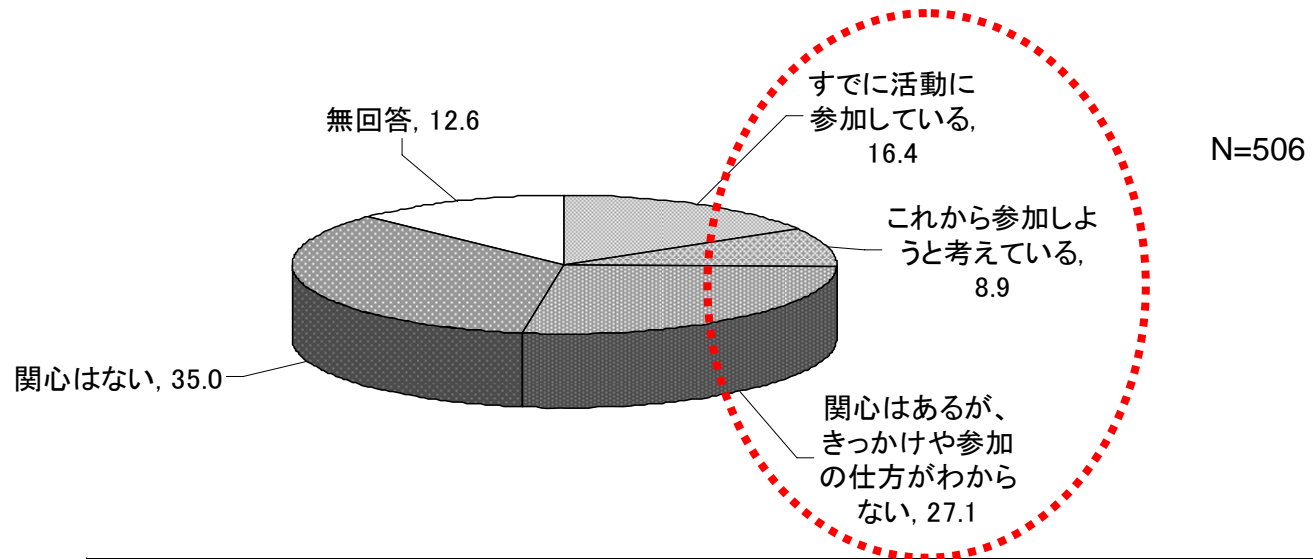
9

■最も長く従事した仕事内容では、「営業・商品開発・販売・研究」。「経理・総務など管理部門」を併せた勤め人経験は4人に1人。



■ 街おこしや街づくりなど地域貢献への参加・関心の状況

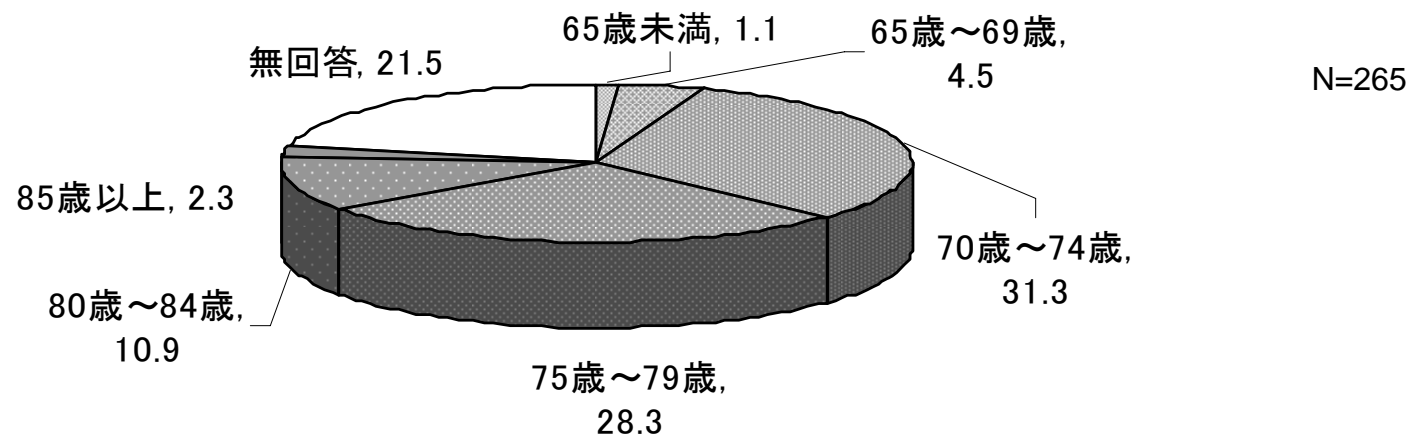
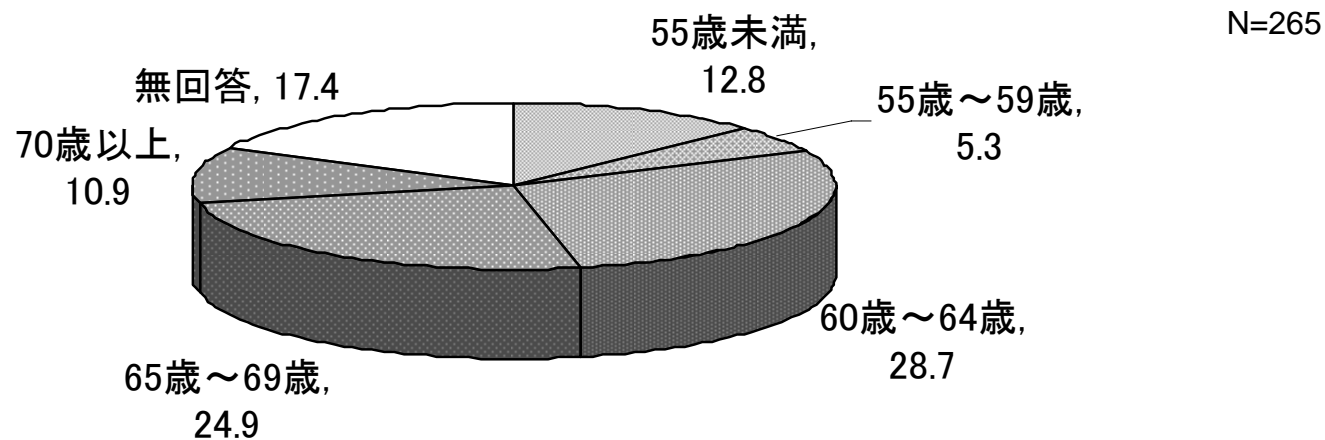
- 笠間市のシニア・高齢者の半数以上が「街おこし・街づくり」に関心がある
- 関心があっても「きっかけや参加の仕方」が障害になっているが3割弱



	歴史・文化・芸術の発掘、伝承など	特産品作りの支援	農業や園芸技術支援	商店街等の活性化	観光資源を使った広報活動	建築や土木技術支援	中小企業のネットワーク作り	その他	無回答
N=265	30.6	21.9	17.0	14.7	13.6	4.5	2.3	21.5	11.7
既に活動に参加	27.2	5.3	7.9	8.8	4.4	1.8	1.8	33.3	9.6
これから活動に参加	20.6	22.2	9.5	6.3	17.5	4.8	-	9.5	9.5
関心はあるがきっかけや参加の仕方がわからない	19.7	20.2	16.0	13.3	10.6	3.7	2.1	6.9	7.4

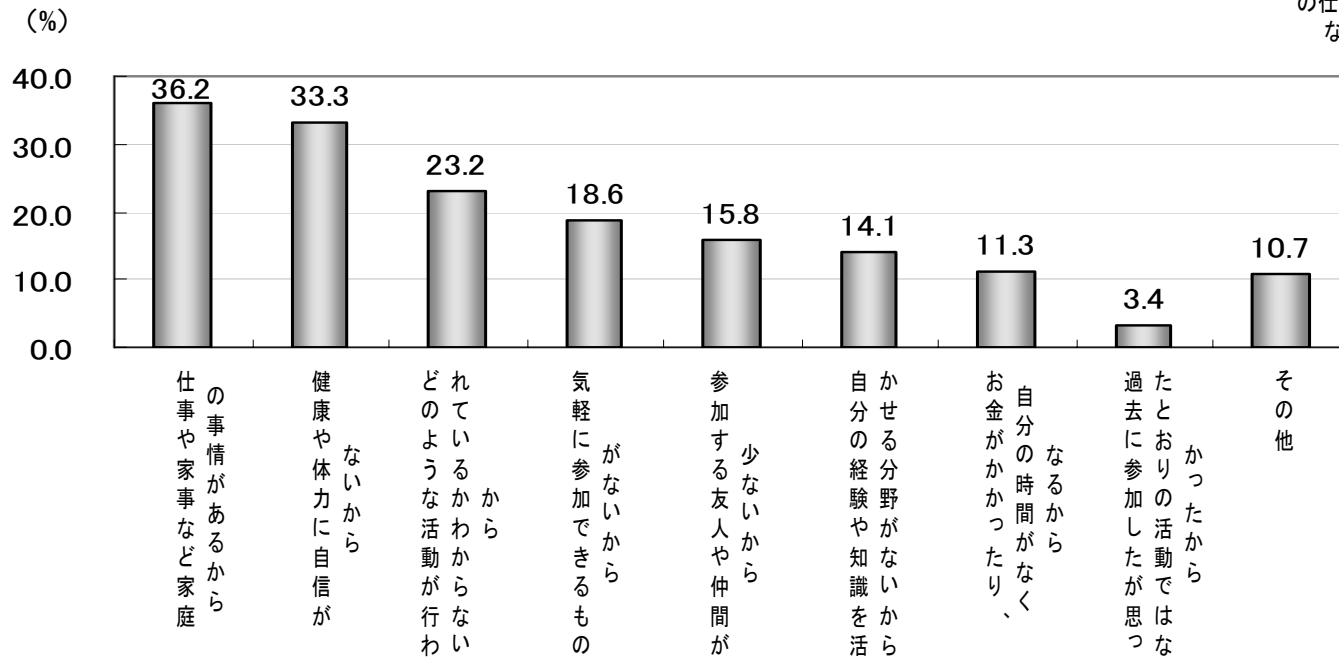
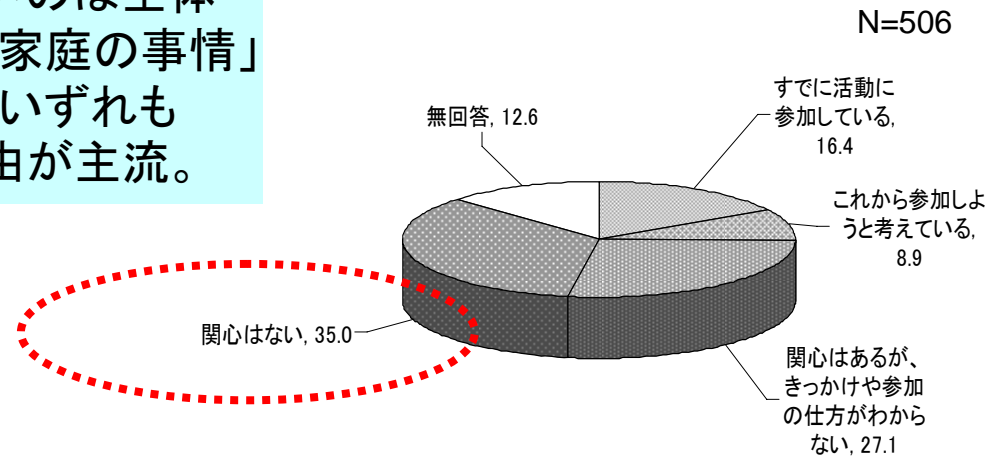
■ 地域貢献活動の開始年齢と終了年齢

■ 地域貢献活動の開始年齢と終了年齢では、60歳前半から70歳前半の10年が最も地域貢献活動に積極的になる年代。



■ 地域貢献活動に関心がわからない

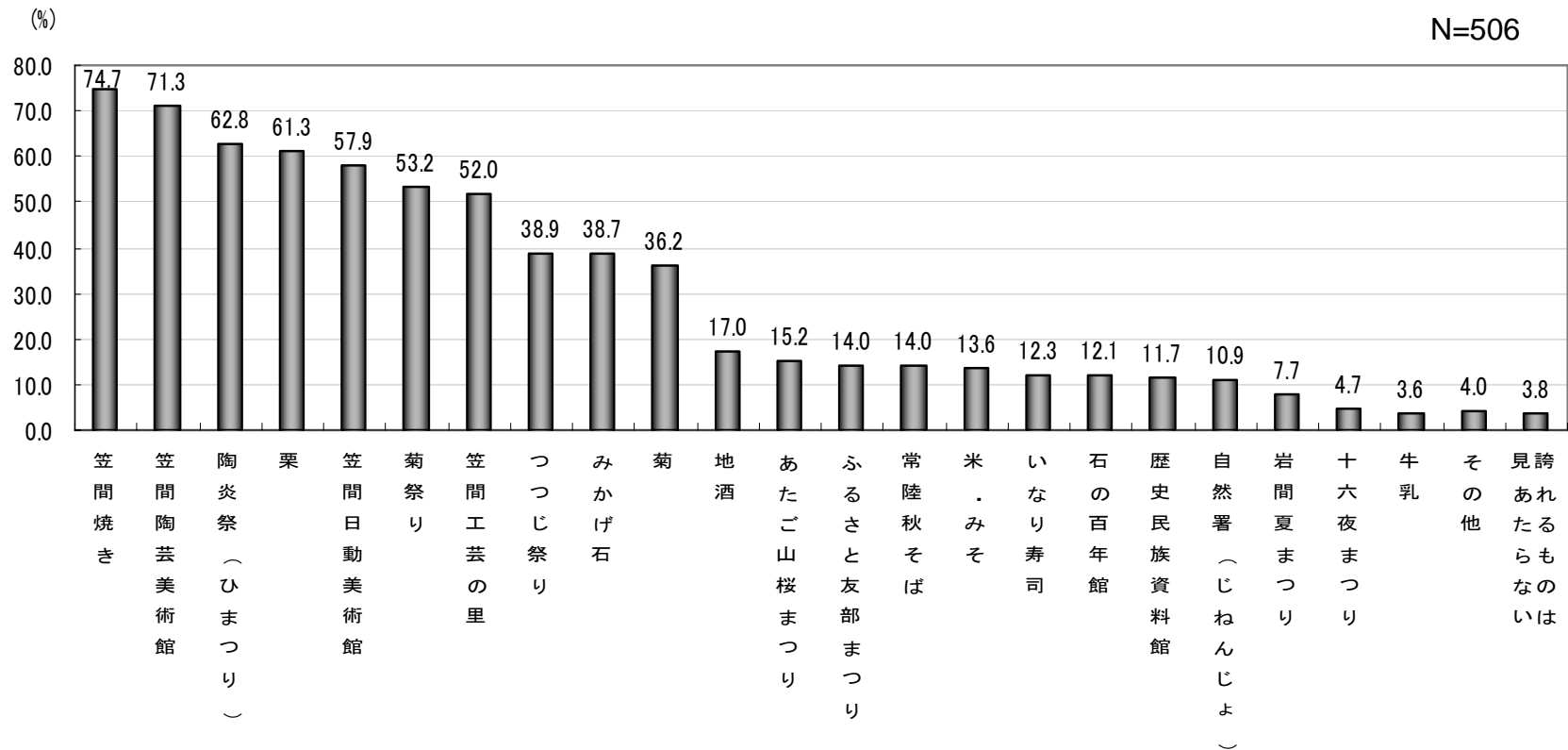
■ 地域貢献活動に関心がわからないのは全体の約3分の1で、「仕事や家事など家庭の事情」「健康や体力に自信がない」など、いずれもやむを得ず参加できないという理由が主流。



N=177

■ 地域貢献への参加・関心分野と他の地域に誇れる地域資源

■「笠間市が誇れるもの」は、笠間焼きや陶芸美術館、陶炎祭り(ひまつり)などや、栗・菊など観光資源を中心に地域を活性化する支援をしたいという意気込みが強い。



■ 経験してきた仕事とアドバイスできる分野

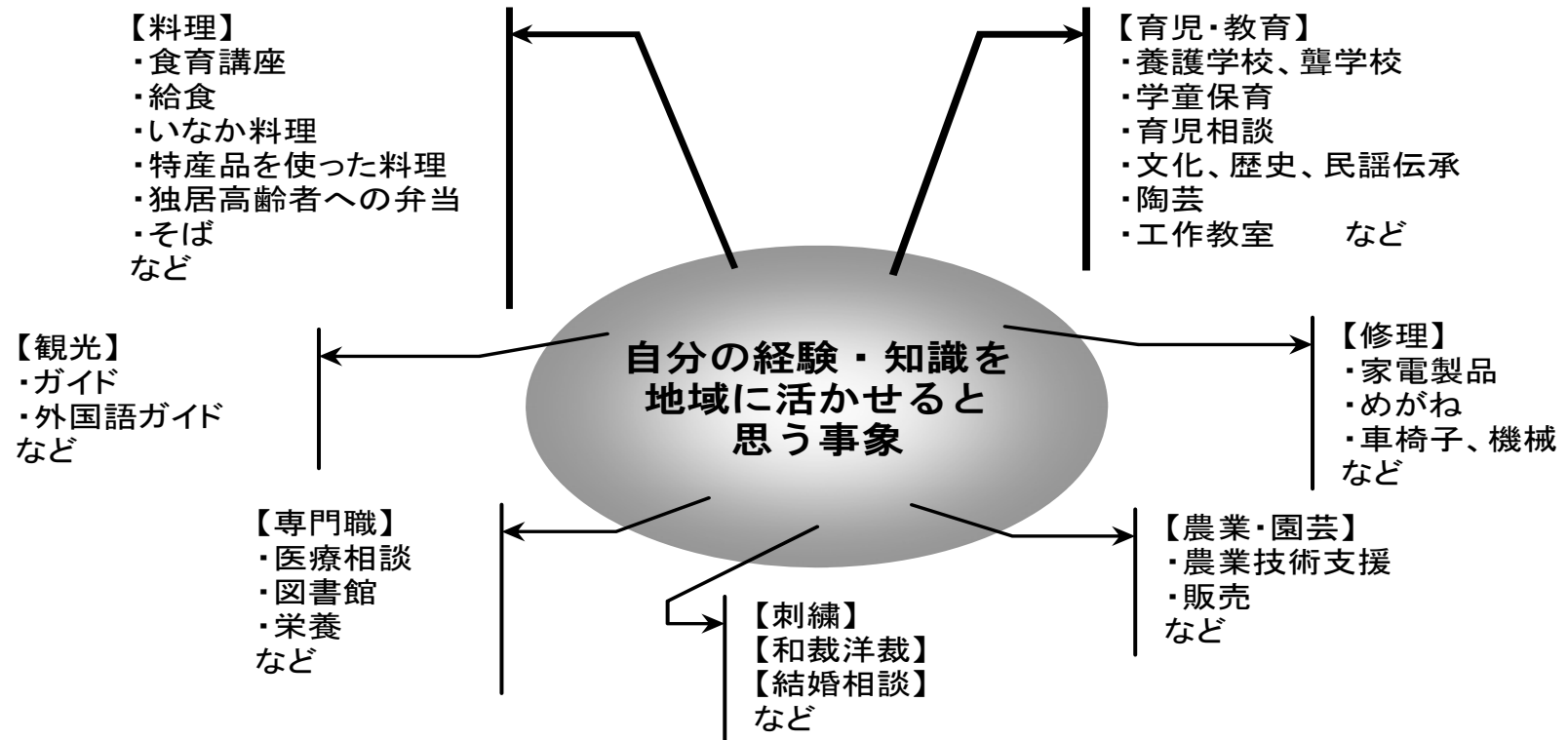
14

	家事	農業分野	営業・接客	総務・経理	建築・土木	栄養・調理	育児	サービス
経験したことがあるもの N=506	26.1	22.9	20.2	17.0	15.6	13.6	13.4	13.4
自信を持ってアドバイスできる	8.3	11.2	18.6	3.5	20.3	7.2	13.2	16.2
経験かつ可能な割合(実数・人)	11	13	19	3	16	5	9	11
簡単なアドバイスであれば可能	51.5	44.0	48.0	43.0	32.9	47.8	54.4	36.8
経験かつ可能な割合(実数・人)	68	51	49	37	26	33	37	25
アドバイスできるほどではない	32.6	37.1	31.4	50.0	40.5	42.0	26.5	41.2

	学校・教育	園芸分野	介護・リハビリ	生産・研究	医療・医療事務	運輸・物流	金融・保険	企業経営
経験したことがあるもの N=506	12.8	12.5	11.3	11.3	10.3	9.5	8.7	8.5
自信を持ってアドバイスできる	12.3	15.9	17.5	10.5	11.5	8.3	18.2	14.0
経験かつ可能な割合(実数・人)	8	10	10	6	6	4	8	6
簡単なアドバイスであれば可能	36.9	39.7	50.9	36.8	21.2	25.0	31.8	32.6
経験かつ可能な割合(実数・人)	24	25	29	21	11	12	14	14
アドバイスできるほどではない	46.2	36.5	26.3	52.6	63.5	64.6	47.7	53.5

	デザイン・エ芸	観光	不動産	建築・インテリア	情報関連	語学	その他	延べ人数
経験したことがあるもの N=506	8.3	7.3	6.5	6.1	5.9	4.9	9.7	
自信を持ってアドバイスできる	23.8	5.4	9.1	9.7	6.7	4.0	26.5	
経験かつ可能な割合(実数・人)	10	2	3	3	2	1	13	179人
簡単なアドバイスであれば可能	26.2	43.2	24.2	29.0	30.0	16.0	38.8	
経験かつ可能な割合(実数・人)	11	16	8	9	9	4	19	552人
アドバイスできるほどではない	50.0	51.4	57.6	61.3	53.3	76.0	28.6	

■ 自分の経験・知識を地域に活かせると思う事象



■ 笠間市で想定される地域専門アドバイザー

